

(0110900071-0)

工種	舗装工事	工事番号	設計年月日	令和4年2月3日
工事箇所				
路線・河川名				
<p>令和 4 年度 市道舗装補修工事（第1号）</p> <p>富谷市</p>				
工期	令和 年 月 日	着工期日	令和 年 月 日	
	令和 年 月 日	竣工期限	令和 年 月 日	
本工事費	円（消費税相当額 円）		工事価格	円

(0110900071-0)

P. 2

< 概要 >

舗装工			
舗装打換え工			
舗装版破碎 アスファルト舗装版	1560	m ²	
般運搬処理 舗装版破碎	154	m ³	
上層路盤（車道・路肩部）	1260	m ²	
表層（車道・路肩部）	1560	m ²	
オーバーレイ工			
オーバーレイ工 再生細粒度AS13F 平均厚 t=40mm	30	t	
区画線工			
区画線設置工(標準単価)溶融式 実線	870	m	
区画線設置工(標準単価)溶融式 破線	260	m	
安全工			
交通誘導警備員	24	人	

本 工 事 内 訳 表					
07:舗装工事					
費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
道路維持	式	1			
舗装工	式	1			
舗装打換え工	式	1			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	m	600			第1号単価表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下 積込有り	m ²	1,560			第2号単価表
殻運搬処理 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離6.5km以下	m ³	154			第1号明細表
不陸整正 補足材有り 再生クワッシュラン RC-40 補足材平均厚9mm以上13mm未満	m ²	1,560			第3号単価表
上層路盤(車道・路肩部) 再生瀝青安定処理材(40) 1層当り60mm 1.4m以上3.0m以下	m ²	1,260			第4号単価表
表層(車道・路肩部) 1.4m以上3.0m以下 50mm 各種(2.30以上2.40t/m ³ 未満)アスコン	m ²	1,560			第5号単価表
オーバーレイ工	式	1			

富谷市

本 工 事 内 訳 表					
07:舗装工事					
費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
オーバーレイ工 再生細粒度AS13F 平均厚 t=40mm	t	30			第6号単価表
区画線工	式	1			
区画線工	式	1			
区画線設置工(標準単価)溶融式 供用区間 実線 15cm 昼間施工 時間的制約なし	m	870			第7号単価表
区画線設置工(標準単価)溶融式 供用区間 破線 15cm 昼間施工 時間的制約なし	m	260			第8号単価表
安全工	式	1			
安全費	式	1			
交通誘導警備員	式	1			第2号明細表
直接工事費	式	1			
共通仮設費	式	1			

富谷市

本 工 事 内 訳 表					
07:舗装工事					
費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
率計算分	式	1			
純工事費	式	1			
現場管理費	式	1			
率計算分	式	1			
工事原価	式	1			
一般管理費等	式	1			
一般管理費	式	1			
率計算分	式	1			
契約保証費	式	1			
工事価格	式	1			

本 工 事 内 訳 表					
07:舗装工事					
費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
消費税等相当額	式	1			
本工事費	式	1			

第1号		殻運搬処理 1m3当たり明細表				舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離6.5km以下	
名称・規格・条件	単位	数	量	単価	金額	雑	摘要
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離6.5km以下	m3		1				第9号単価表
建設廃棄物処理費 中間処理・再生資源化施設 仙台東 世紀東急工業㈱ 仙台混合所 アスファルト塊	m3		1				
合計	m3		1				

富谷市

第2号		交通誘導警備員 1式当たり明細表					
名称・規格・条件	単位	数	量	単価	金額	雑	摘要
交通誘導警備員B	人						
合計	式		1				

富谷市

第1号 SPG4303010 J01		舗装版切断 1m当たり単価表				アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下 IV-3-③-1	
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
コンクリートカッタ損料 バキューム式・湿式 切削深20cm級 フレート径56cm	供用日						
特殊作業員	人						
土木一般世話役	人						
普通作業員	人						
コンクリートカッタ(フレート) 径22インチ	枚						
ガソリン レギュラー	L						
施工パッケージ単価	m	1					
合 計	m	1					
舗装版種別A = 01 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚B = 01 15cm以下			コンクリート舗装版厚C = 0 コンクリート+アスファルト(カー)舗装版の全体厚 D = 0				

富谷市

第2号 SPG4302010 J01		舗装版破砕 1m2当たり単価表				アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下 積込有り IV-3-②-2	
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
バックホウ用アタッチメント損料 コンクリート圧砕装置(大割機) 開口幅735~850mm 破砕力550~980kN	供用日						
バックホウ[油圧式・クローラ型] 0.35m3(0.45m3)	日						
運転手(特殊)	人						
普通作業員	人						
土木一般世話役	人						
軽油 バートル給油 1.2号	L						
施工パッケージ単価	m2	1					
合 計	m2	1					
舗装版種別A = 01 アスファルト舗装版 障害等の有無B = 01 無し 騒音振動対策C = 02 必要	Co+As(カー)		舗装版厚D = 01 15cm以下 アスファルト舗装版E = 0 積込作業の有無F = 01 有り				

富谷市

第3号の1 SPG4101010 J01		不陸整正 1m 2 当たり単価表				補足材有り 再生クラッシュラン RC-40 補足材平均厚9mm以上13mm未満 IV-1-①-2				
名称・規格・条件	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
モータレーザ損料 土工用・排出ガス対策型(第2次基準値) プレート幅3.1m	供用日									
ロードロー損料 マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量10t 締固め幅2.1m	供用日									
タイヤロー[普通型] 運転質量8~20t	日									
運転手(特殊)	人									
特殊作業員	人									
普通作業員	人									
土木一般世話役	人									
再生クラッシュラン RC-40	m ³									
軽油 バトロー給油 1.2号	L									
施工パッケージ単価	m ²	1								

富谷市

第3号の2 SPG4101010 J01		不陸整正 1m 2 当たり単価表				補足材有り 再生クラッシュラン RC-40 補足材平均厚9mm以上13mm未満 IV-1-①-2				
名称・規格・条件	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
合 計	m ²	1								
補足材料の有無A = 02 有り 補足材料平均厚さB = 04 9mm以上13mm未満					補足材料C = 06	再生クラッシュラン RC-40				

富谷市

第4号の1 SPG4101040 J04		上層路盤 (車道・路肩部) 1m ² 当たり単価表			再生瀝青安定処理材(40) 1層当り60mm 1.4m以上3.0m以下 IV-1-①-7					
名称・規格・条件	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
アスファルトフィニッシャ [ホイル型] 舗装幅1.4～3.0m	日									
振動ローラ[舗装用](搭乗・コンバインド [®] 式) 運転質量3～4t	日									
タイヤローラ[普通型] 運転質量3～4t	日									
普通作業員	人									
特殊作業員	人									
運転手(特殊)	人									
土木一般世話役	人									
アスファルト合材 再生AS安定処理	t									
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	L									
軽油 ハートル給油 1.2号	L									

富谷市

第4号の2 SPG4101040 J04		上層路盤 (車道・路肩部) 1m ² 当たり単価表			再生瀝青安定処理材(40) 1層当り60mm 1.4m以上3.0m以下 IV-1-①-7					
名称・規格・条件	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
施工パッケージ単価	m ²		1							
合 計	m ²		1							
材料A = 04 再生瀝青安定処理材(40) 平均幅員B = 03 1.4m以上3.0m以下				全仕上り厚(mm)(1)F = 0 全仕上り厚(mm)(2)G = 0 全仕上り厚(mm)(3)H = 0						
1層当り平均仕上り厚(mm)(1)C = 0 1層当り平均仕上り厚(mm)(2)D = 60 施工区分E = 0				瀝青材料種類I = 02	プライムコート PK-3					

富谷市

第5号の1 SPG4102030 J01		表層（車道・路肩部） 1m ² 当たり単価表				1.4m以上3.0m以下 50mm 各種(2.30以上2.40t/m ³ 未満)アスコン IV-1-②-2	
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
アスファルトフィニッシュ [ホイール型] 舗装幅1.4～3.0m	日						
振動ローラ[舗装用](搭乗・コンバインド式) 運転質量3～4t	日						
タイヤローラ[普通型] 運転質量3～4t	日						
普通作業員	人						
特殊作業員	人						
運転手(特殊)	人						
土木一般世話役	人						
アスファルト合材 再生密粒度アスコン(20F)	t						
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	L						
軽油 ハトール給油 1.2号	L						

富谷市

第5号の2 SPG4102030 J01		表層（車道・路肩部） 1m ² 当たり単価表				1.4m以上3.0m以下 50mm 各種(2.30以上2.40t/m ³ 未満)アスコン IV-1-②-2	
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
施工パッケージ単価	m ²	1					
合 計	m ²	1					
平均幅員A = 03 1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上り厚(mm) (1) B = 50 1層当り平均仕上り厚(mm) (2) C = 0			材料D = 35 各種(2.30以上2.40t/m ³ 未満)アスコン 瀝青材料種類E = 01 タックコート PK-4				

富谷市

第6号		オーバーレイ工 1t 当たり単価表				再生細粒度AS13F 平均厚 t=40mm	
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
特殊作業員	人						
普通作業員	人						
土木一般世話役	人						
振動コンパクタ損料 前進型 機械質量40～60kg	供用日						
振動ロー(舗装用)損料 バトカ付式 運転質量0.5～0.6t	供用日						
アスファルト合材 再生細粒度アスコン(13F)	t	1.0721					
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	L	6.0847					
ガソリン レギュラー	L	0.3393					
軽油 バトカ付給油 1.2号	L	0.0866					
合 計	t	1					

富谷市

第7号 S650200 J01		区画線設置工(標準単価)溶融式 1000m 当たり単価表				供用区間 実線 15cm 昼間施工 時間的制約なし VI-1-①-1	
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
区画線設置(溶融式)昼間 豪雪無 実線15cm 制約無	m	1,000					
トラフィックベント3種1号 ヒース15～18 白 溶融型	kg	390					
ガラスビーズ 0.106～0.850mm	kg	25					
接着用プライマー区画線用	kg	25					
軽油 バトカ付給油 1.2号	L	44					
諸雑費	%	5					
合 計	m	1,000					
単位当り	m	1					
規格・仕様区分A = 01 実線 15cm 時間的制約B = 01 なし 施工区分C = 01 昼間施工 排水性舗装への施工D = 01 排水性舗装の施工無し 施工場所E = 01 供用区間			塗料種別F = 01 3種1号 白 塗装厚G = 02 1.0mm 舗装種別H = 01 アスファルト 週休2日補正I = 01 週休2日補正無し				

富谷市

第8号 S650200 J02		区画線設置工(標準単価)溶融式 1000m当たり単価表				供用区間 破線 15cm 昼間施工 時間的制約なし VI-1-①-1	
名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	雑	摘要	
区画線設置(溶融式)昼間 豪雪無 破線15cm 制約無	m	1,000					
トリアックハート3種1号 ビーズ15~18 白 溶融型	kg	390					
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	kg	25					
接着用プライマー区画線用	kg	25					
軽油 ハトル給油 1.2号	L	49					
諸雑費	%	5					
合計	m	1,000					
単位当り	m	1					
規格・仕様区分A = 05 破線 15cm 時間的制約B = 01 なし 施工区分C = 01 昼間施工 排水性舗装への施工D = 01 排水性舗装の施工無し 施工場所E = 01 供用区間			塗料種別F = 01 3種1号 白 塗装厚G = 02 1.0mm 舗装種別H = 01 アスファルト 週休2日補正I = 01 週休2日補正無し				

富谷市

第9号 SPG2225010 J02		殻運搬 1m3 当たり単価表				舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離6.5km以下 II-2-25-1	
名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	雑	摘要	
ダンプトラック損料 オンロード・ディーゼルの 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	供用日						
運転手(一般)	人						
軽油 ハトル給油 1.2号	L						
施工パッケージ単価	m3	1					
合計	m3	1					
殻発生作業A = 03 舗装版破碎 積込工法区分B = 03 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下) DID区間の有無C = 01 無し 運搬距離(1)D = 0 運搬距離(2)E = 0 運搬距離(3)F = 0 運搬距離(4)G = 0 運搬距離(5)H = 0			運搬距離(6)I = 0 運搬距離(7)J = 04 運搬距離(8)K = 0 運搬距離(9)L = 0 運搬距離(10)M = 0 運搬距離(11)N = 0 運搬距離(12)O = 0	6.5km以下			

富谷市

積算情報表

(0110900071-0)

P. 21

項目	内容	項目	内容
積算区分	実施	一般管理費補正率	0%
変更回数	当初	契約保証費区分	計算区分3
積算基準パターン	35:令和3年度国交省諸経費改訂(消費税10%)	契約保証費率	金銭的保証
施行主体名	富谷市	夜間補正区分	補正なし
設計書名(1行目)	市道舗装補修工事(第1号)	夜間補正率	0%
設計書名(2行目)		冬期間補正区分	補正なし
設計書名(3行目)		冬期間補正率	0%
工事箇所		昼夜間補正区分	補正なし
路線・河川名		昼夜間補正率	0%
工事番号		着工年月日	令和 年 月 日
設計年度	令和04年度	竣工期限	令和 年 月 日
設計年月日	令和04年02月03日	工期開始	令和 年 月 日
単価適用日付	令和04年02月01日(40)	工期終了	令和 年 月 日
単価適用地区	01 地区	工期日数	0日
適用率(工種区分)	07 舗装工事	工種名	舗装工事
間接工事費の被災地補正	0:補正しない	請負人	
前払金支出割合区分	35%を超える		
共通仮設費補正	一般交通影響あり(2)		
現場環境改善費	計上しない		
現場環境改善費地域			
現場管理地域補正	一般交通影響あり(2)		
現場管理費率の補正(施工時期)	なし		

富谷市

一 特記仕様書 一

施工条件明示書

工事番号	項目	条件	内容	事務所名	備考		
1	共通仕様書の適用		本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。				
2	工程関係						
	(1) 関連工事による施工時期の調整	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない					
	(2) 施工時期による制限	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない					
	(3) 関係機関等との協議の未成立	<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない	所轄警察署長との道路法第80条の協議	片側交互通行			
	(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない					
3	公害対策関係						
	(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限	<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない	低騒音建設機械の使用	9:00～17:00			
4	安全対策関係						
	(1) 交通安全施設等の指定	<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない	交通誘導員 24人				
	(2) 占用埋設物との近接工事による 施工方法、作業時間の制限	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない					
5	排水工関係						
	(1) 濁水、湧水処理のための特別な対策の必要性	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない					
6	建設副産物対策関係						
	(1) 共通事項		下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場等の受入れの可否を確認すること。				
	(2) 建設発生土情報交換システム登録対象工事	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	土量、土質、土工期等に変更が生じた都度、当該システムのデータ更新を行うこと。 (搬出量で1,000m ³ 以上、搬入量で500m ³ 以上)				
			処理・処分	処理・処分する場所	処理・処分方法	距離	制限時間
		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない				km	時 分 ～ 時 分
	(3) 建設発生土以外の 建設副産物	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	コンクリート塊			km	時 分 ～ 時 分
			工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること。				
		<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない	アスファルト塊	中間処理	再生資源化施設	6.5 km	時 分 ～ 時 分
		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	建設発生木材			km	時 分 ～ 時 分
		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	建設汚泥			km	時 分 ～ 時 分
		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	その他			km	時 分 ～ 時 分
	(4) 再生材の利用	<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない	種類・数量	再生密粒度As20F、再生As安定処理			
7	工事現場のイメージアップ						
		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	内容 イメージアップの具体的な実施内容、実施期間については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。				
8	品質証明						
		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	土木工事共通特記仕様書第3編1-1-8によること。				
9	標準的な設計図書による発注方式						
		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	土木工事共通特記仕様書第3編1-1-13によること。				
10	資材関係						
	(1) 生コンクリート		生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理審査会議」が交付する「品質管理審査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。				
	(2) 宮城県グリーン製品の利用 「宮城県グリーン製品」利用推進指針によること。	<input type="radio"/> 必須 <input checked="" type="radio"/> ない	1. 暗渠排水管、汚泥醗酵肥料、植生基盤材等、及び視線誘導標は、宮城県グリーン製品を用いること。				
		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	2. 盛土材、埋め戻し材				
		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	3. その他()				
		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	4. その他()				
	(3) 現場吹付法砕工		吹付モルタルにおける圧縮強度の規格値は、18N/mm ² 以上とする。				
11	その他						
	(1) 舗装の下請制限について	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	土木工事共通特記仕様書第1編1-1-3によること。				
	(2) 「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における 工事費内訳調査」の対象の有無	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	本工事は「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンプ土砂運搬等下請負契約に関する関係書類を提出すること。 請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。				
	(3) 三者会議の対象の有無	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「三者会議」を設置する対象工事である。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-5によること。				
	(4) 貸与資料の有無	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	本仕様書によるもののほか工事施工に関して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料()				

令和3年度 市道舗装補修工事（第4号） 特記仕様書

第1章 総 則

- 第1 本仕様書は、令和3年度 市道舗装補修工事（第4号）を施行するために必要な作業方法を定める。
- 第2 この工事は、本仕様書によるほか関係法規等に準拠し実施するものとする。
なお、本仕様書及び関係法令に明示のない事項など疑義が生じた事項は、発注者と、受注者が協議して定めること。
- 第3 受注者は、発注者と工事着手前に十分な打ち合わせを行い、関係書類を提出し、その内容を説明し、発注者の承認を受けること。
また、工事施工中の進捗状況を随時発注者に報告し、担当者の指示を受けること。
- 第4 この工事に伴って必要となる関係機関への諸手続は、発注者の承認を受けた後、受注者の責任において実施すること。
- 第5 受注者は、この工事中に工事に起因して生じた諸事故について責任を負い、受注者において一切を処理すること。

第2章 施 工

- 第1 受注者は、工事に先立って現地調査を実施し、設計内容を十分に把握すること。
- 第2 施工機械・施工方法等について問題が発生した場合には、発注者と受注者とが協議の上決定するもの。
- 第3 施工箇所に影響する路線の起点終点到、監督員と協議の上、交通誘導員を適切に配置すること。
なお、当初設計では20人計上している。

第3章 そ の 他

- 第1 この積算においては、間接工事費の被災地補正は行わない。